

基本計画 5：地域福祉を進める社協の基盤整備

基本計画 5 の実施計画

(1) 会員会費制度の理解と加入促進

<現状と課題>

社協の運営は会員組織で行われているため、市民の皆さんからの会費が大切な活動財源となっています。一般会費 1 世帯 700 円、賛助会費 1 口 1,000 円、団体会費 1 口 1,000 円、企業等法人会費 1 口 5,000 円をお願いしています。

賛助会費は、町内会長から有志者へ依頼いただいておりますが、町内別にみて加入者のいない町内も多いのが現状です。

<今後の取組>

会費の依頼方法等を検討し、会員の加入促進と拡充を図ります。

主な事業	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
会員会費の加入促進	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒

(2) 善意銀行活動の活性化

<現状と課題>

市民の皆さんからの寄付金を善意銀行で預かり、介護者の会が実施する介護用品斡旋事業の助成や、障がい者が利用するリフト付き自動車の維持費用に活用しています。社会福祉基金積立やこんすけ基金の運用管理も行っています。近年は災害による募金が、年間を通してあるためか善意銀行への寄付は減少傾向になっています。

また、預託品として配食サービスの食材や紙おむつ、タオル等物品の寄付も多く、必要なところへ払出ししています。使用済み切手は、ボランティアグループが整理し、海外医療協力会へ定期的に送付し、発展途上国の医療費に役立てられています。アルミリングプルは、市内の業者から換金いただき、善意銀行で預かっています。

<今後の取組>

今後も毎月の社協だよりの「善意をありがとう」というコーナーで、寄付者を掲載すると共に、寄付金や物品の有効活用を周知し、引き続き市民の皆さんからのご支援・ご協力をお願いします。

主な事業	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
善意銀行事業	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒

(3) わかりやすい社協情報の提供

＜現状と課題＞

毎月 25 日に「おぢや社協だより」を発行しています。協力員懇談会やアンケートからみると、社協の認知度が若い世代に特に低く、社協だよりも毎月読んでいる割合が低く、広報紙としての役割が不十分といった結果でした。パンフレットは、平成 23 年度に改訂版を作成しました。ホームページは、社協行事の紹介や毎月の社協だよりなどを掲載しています。

＜今後の取組＞

毎月の社協だよりは、役立つ福祉情報を加え、手に取って読んでもらえるよう、スタイルや内容を十分検討して発行します。パンフレットも、わかりやすい社協情報を伝えるよう内容を検討して発行します。ホームページは、地域福祉事業やボランティア情報の発信など、リアルタイムに更新するよう努めます。

また、年間を通して市民に社協情報を発信するため、新規に福祉カレンダーを発行します。

なお、平成 27 年度には法人化 35 周年記念第 6 回社会福祉大会を開催します。

主な事業	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
おぢや社協だよりの発行	改訂・発行	⇒	⇒	⇒	⇒
社協パンフレットの発行	改訂・発行	⇒	⇒	⇒	⇒
社協ホームページの充実	内容検討	⇒	⇒	⇒	⇒
福祉カレンダーの発行（新規）	検討・発行	⇒	⇒	⇒	⇒
社会福祉大会（第 6 回）の開催			企画・検討	社会福祉大会開催	

(4) ネットワーク機能の強化

＜現状と課題＞

社協協力員（町内会長を委嘱）や民生委員児童委員との連携を深め、社協事業をご理解いただくため、年 1 回協力員懇談会を開催しています。

また、保健福祉調整会議や地域包括ケア会議等、さまざまなネットワーク会議に職員が参画し、他の専門職との関わり合いを通して、関係機関・団体との連絡調整、協働での事業の円滑な運営を

図っています。

<今後の取組>

平成23年度は、協力員懇談会を4地区で開催しましたが、町内によっては、町内会長と民生委員の関わりが今までなかったため、よい機会だったという意見もあり、地区ごとの開催について検討したいと思います。

今後も、地域で見守り支援していくネットワークづくりのため、福祉をはじめとする住民組織や行政、民生委員児童委員協議会などの関係機関、福祉・医療・保健の専門機関、老人クラブや障がい者、子育てを行う当事者団体、ボランティアなどと連携を図り、調整していく機能の強化に努めます。

主な事業	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
協力員懇談会の開催	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒
各種関係会議への参加	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒

(5) 共同募金運動への協力

<現状と課題>

新潟県共同募金会に協力し、共同募金運動を推進しています。共同募金運動の啓発に努め、趣旨をPRすることにより、市民の募金運動への協力を働きかけています。

<今後の取組>

引き続き共同募金運動を推進します。共同募金の使いみちについてわかりやすい広報をし、市民へ「自分のまちをよくするしくみ」としての共同募金運動の協力をお願いします。

主な事業	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
共同募金運動の推進	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒



